

# 平成30年度 事業報告書

第14期

自) 平成30年4月 1日

至) 平成31年3月31日

社会福祉法人 みよしの会

特別養護老人ホーム 桜荘

桜 荘 ショートステイ

桜荘デイサービスセンター

桜荘 居宅介護支援事業所

# 目 次

1. 法人（本部）事業報告	ページ
(1) 理事会・評議員会事業報告	P 2
(2) 職員構成	P 4
(3) 事業運営	P 4
2. 特別養護老人ホーム事業報告	
(1) 介護度別	P 11
(2) 年齢構成	P 11
(3) 在籍期間	P 11
(4) 保険者別	P 12
(5) 入退居状況	P 12
(6) 入退院状況	P 13
(7) 事業計画報告	P 13
3. ショートステイ事業報告	
(1) 月別利用状況	P 17
(2) 保険者別	P 17
(3) 介護度別	P 17
(4) 年齢構成	P 18
(5) 事業計画報告	P 18
4. デイサービス事業報告	
(1) 月別利用状況	P 18
(2) 保険者別	P 18
(3) 介護度別	P 19
(4) 年齢構成	P 19
(5) 事業計画報告	P 19
5. 居宅介護支援事業報告	
(1) 月別利用登録状況	P 24
(2) 保険者別	P 24
(3) 介護度別	P 24
(4) 年齢構成	P 25
(5) 事業計画報告	P 25
6. 彩の国あんしんセーフティネット事業	P 26
(1) 平成30年度桜荘事業実績	P 26

## 1. 法人（本部）事業報告

### （1）理事会・評議員会事業報告

#### ○理事会の開催

回数	開催年月日	参加人数	議案事項	結果
1	平成30年5月30日	6名	1. 平成29年度決算に関する件 2. 平成29年度事業報告に関する件 3. 給料規程の一部改訂に関する件 4. 経理規程の一部改正に関する件 5. 新理事の候補者に関する件	承認 承認 承認 承認 承認
2	平成30年6月7日	8名	1. 平成30年度実地指導監査指導時に関する件 2. 監事監査の業務監査に関する件	承認 承認
3	平成30年8月8日	7名	1. 定款変更に関する件 2. 育児休業等に関する規則の制定・就業規則野一部改正に関する件 3. 厨房給食業者選定に関する件 4. 職員のキャリアアップ研修開催に関する件 5. 機械浴槽の購入に関する件 6. 新理事の候補者に関する件 7. 平成29年度社会福祉施設等指導監査（実地）の結果の指導事項及び改善報告に関する件	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
4	平成30年8月23日	6名	1. 人件費返還に関する件	承認
5	平成30年9月28日		1. 非常勤の給料規程の変更に関する件	承認
6	平成30年12月19日	8名	1. 平成30年度予算執行状況に関する件	承認
7	平成31年3月13日	8名	1. 平成30年度補正予算（案）に関する件 2. 平成31年度予算（案）に関する件 3. 平成31年度事業計画（案）に関する件 4. 就業規則・育児休業の一部改正に関する件 5. 退職積立金に関する件	承認 承認 承認 承認 承認

○評議員会の開催

回数	開催年月日	参加人数	議案事項	結果
1	平成30年6月20日	10名	1. 平成29年度決算報告書に関する件 2. 平成29年度事業報告書に関する件 3. 給料規程の一部改訂に関する件 4. 経理規程の一部改正に関する件	承認 承認 承認 承認
2	平成30年8月29日	10名	1. 定款変更に関する件 2. 育児休業等に関する規則の制定・就業規則野一部改正に関する件 3. 厨房給食業者選定に関する件 4. 職員のキャリアアップ研修開催に関する件 5. 機械浴槽の購入に関する件 6. 新理事の候補者に関する件 7. 平成29年度社会福祉施設等指導監査(実地)の結果の指導事項及び改善報告に関する件	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
3	平成30年12月26日	11名	1. 平成30年度予算執行状況に関する件 2. 平成30年度事業執行状況に関する件 3. 平成30年度指導監査に関する件 4. 定款の一部改正に関する件 5. 役員及び評議員の報酬に関する規程の一部改正に関する件	承認 承認 承認 承認 承認
4	平成31年3月27日	12名	1. 平成30年度補正予算に関する件 2. 平成31年度予算に関する件 3. 平成31年度事業計画に関する件 4. 退職給付引当資産に関する件	承認 承認 承認 承認

○監事監査の開催

回数	開催年月日	参加人数	議案事項	結果
1	平成30年5月23日	2名	平成29年度財務状況監査報告 平成29年度事業報告監査報告	承認 承認

## (2) 職員構成

### ○正職員（平成31年3月31日現在）

職種	施設長	センター長	事務長	課長	相談員	介護支援専門員	介護員	看護師	管理栄養士	機能訓練士	合計
採用	0名	0名	0名	0名	0名	0名	4名	1名	1名	1名	7名
異動	0名	0名	0名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	1名
退職	0名	0名	0名	0名	0名	0名	1名	1名	1名	1名	4名
現在	1名	0名	0名	1名	3名	1名	49名	4名	1名	2名	62名

### ○非常勤職員（平成31年3月31日現在）

職種	介護員	夜間介護員	看護師	宿直	運転手	清掃員	合計
採用	4名	0名	0名	0名	0名	1名	5名
異動	1名	0名	0名	0名	0名	0名	1名
退職	1名	0名	0名	1名	0名	1名	3名
現在	18名	0名	5名	2名	4名	3名	32名

## (3) 事業運営

### ①健康診断

#### ○職員健康診断

回	年月日	参加人数	備考
1	平成30年6月	49名	春季職員定期健康診断
2	平成31年11月～平成31年1月	78名	インフルエンザ予防接種
3	平成31年1月	89名	冬季職員定期健康診断

#### ○入居者

回	年月日	参加人数	備考
1	平成30年6月	90名	春季入居者定期健康診断
2	平成30年11月	75名	インフルエンザ予防接種

## ②苦情・相談件数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談	8	9	5	6	3	5	3	2	6	4	3	5	57
苦情	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	5

○相談内容は、入居申し込みが主です。

## ③年間行事

月	行事名	備考
4	お花見	※ ユニット毎に誕生会、近隣へ 買い物や外出を実施した。  ※ 毎月第2日曜日 喫茶スマイル
5	菖蒲湯	
6	—	
7	七夕会	
8		
9	敬老会	
10		
11	三芳町福祉まつり	
12	クリスマス会・クリスマスバイキング	
1	正月 初詣	
2	節分 恵方巻き体験	
3		

#### ④会議の開催状況

会議名	回数	参加人数	参加職種	主な内容
運営会議	12	12名	施設長 総務課長 各課主任 各課相談員 栄養士 ケアマネ	施設運営管理・実施事業の確認 決定、検討
ケースカンファレンス	180	各回 職員7名 家族	施設長 ケアマネ 相談員 介護職 看護師 栄養士 機能訓 本人 家族	ケアプランの策定
給食会議	12	桜荘 7名 レオック 4名	施設長 相談員 栄養士 厨房 介護員 看護師	食・栄養に関する事項
リーダーミーティング	12	20名	相談員 CM 介護主任 UL 看護主任 栄養士	施設における暮らし・生活に関 する具体策の検討・案策定
ユニットミーティング	12	ユニット職員 5～9名	UL ユニット職員	ユニット内における暮らし・生 活に関する具体策の検討・案策 定
デイサービス月例会	12	6～10名	施設長 総務主任 相談員 介護員 機能訓練士	デイサービスの運営に関する 事

#### ⑤委員会の開催状況

委員会名	回数	参加人数	参加職種	主な内容
地域交流委員会	12	4～9名	各課担当者	ボランティアの受け入れ調整と活動 内容について
入居検討委員会	12	7名	施設長 介護主任 相談員 ケアマネ 第三者委員	入居申し込み状況の確認 入居候補者の順位の決定について
接遇委員会	12	3～8名	各担当者	法人の接遇に関する方針の決定 機関

G 接遇委員会		1 2	11～12 名	各担当者	グループの接遇に関する方針の決定機関
感染症予防委員会		4	5 名	各担当者	感染症についての検討・立案
褥瘡予防委員会		4	6～7 名	各担当者	褥瘡についての検討・立案
拘束廃止委員会		1 2	7～12 名	施設 相談員,CM, 介護課・看護課主任	法人の拘束廃止に関する方針の決定機関
事故防止委員会		1 2	6～10 名	各担当者	事故分析 ・インシデント ・アクシデント 再発防止へ向けた対応策の策定
緊急事故防止委員会		5	6～10 名	各担当者	
衛生委員会		1 2	4 名	産業医 施設長 看護主任 総務課長	職員の健康管理 職員の職場環境管理
環境委員会		1 2	2～6 名	各担当者	施設内・外の環境美化について 環境美化の計画・企画・立案
ユニットケア 推進委員会	食事分科会	1 2	7 名	施設長 各主任 CM ユニットリーダー	経営理念である、個別ケアを実現する為、ユニットケア理念を全職員が共通理解できるような企画・立案・活動
	排泄分科会	1 2	7 名		
	入浴分科会	1 2	7 名		

### ⑥消防訓練

回数	訓練内容	年月日	参加人数	立会い・指導
1	総合訓練（夜間を想定）	平成30年 3月 8日	11名	東入間消防
2	総合訓練（日中を想定）	平成31年 3月 5日	23名	東入間消防

### ⑦保守点検実施状況

項目	事業者	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
<b>建 物（法定点検）</b>													
昇降機点検	ジャパンEV	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
受水槽清掃点検	毎日興業						○						○
簡易専用水道検査	県建築住安協						○						
建築設備定期点検	”						○						
害虫駆除	シーアイシー					○						○	
電気自家発点検	関東電気保安	○		○		○		○		○		○	
消防用設備点検	カナイ消防機材	○							○				

自主点検													
ガス設備点検	山ニガス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
グリストラップ	毎日興業							○					○
窓	(株)CSS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
施設備品													
複合機	リコージャパン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
空調設備	毎日興業		○						○				
施設車両													
ハイエース 1号車	トヨタレント									○			
ハイエース 2号車	トヨタレント												○
ワゴンR 1号車	スズキ									○			
ワゴンR 2号車	スズキ									○			
ワゴンR 3号車	スズキ										○		

## ⑧研修

### ○施設内研修 (計187名参加)

研修名	年月日	主催	参加人数
感染予防研修	平成30年 6月22日	特別養護老人ホーム桜荘	18名
事故防止研修 (事例検討)	平成31年 3月26・ 27日	特別養護老人ホーム桜荘	40名
感染予防研修	平成30年10月25日	特別養護老人ホーム桜荘	22名
褥瘡予防研修	平成30年 8月22日	特別養護老人ホーム桜荘	16名
褥瘡予防研修	平成31年 2月13日	特別養護老人ホーム桜荘	14名
拘束廃止研修	平成30年 7月25日	特別養護老人ホーム桜荘	37名
拘束廃止研修	平成30年 7月28日	特別養護老人ホーム桜荘	26名
接遇研修	平成30年11月13・ 14・16日	特別養護老人ホーム桜荘	63名

### ○外部研修 (計21名参加)

研修名	年月日	主催	参加人数
集団指導	平成30年 5月28日	埼玉県	2名
感染症専門研修	平成30年 9月13日	埼玉県衛生研究所	1名
相談員研修会	平成30年 8月24日	埼玉県老施協	1名
褥瘡対策、医療安全対策	平成30年 6月26日	埼玉地域看護研修センター	1名
防火管理者講習会	平成31年2月14/26日	東入間消防署	1名
介護支援専門員研修会	平成30年 8月30日	埼玉共済会館	1名
ターミナル研修	平成30年10月10日	埼玉県産連研修センター	1名
介護職員施設間交流研修	平成30年10月12日	東上パールビルディング	2名
看取りについての具体的なケア	平成30年10月23日	埼玉県県民健康センター	1名
高齢者虐待防止研修	平成30年11月9日	埼玉県県民健康センター	1名

看取りグリーフケア基礎研修	平成30年12月4日	お茶の水ケアサービス学院	2名
財務管理担当者研修	平成30年11月30日	すこやかプラザ	1名
アンガーマネジメント	平成31年 2月20日	コピス三芳	2名
看取りケア研修	平成30年11月5・6日	岩槻コミュニティセンター	3名
キャリアパス対応研修	平成30年7月5・12日	埼玉会館	1名

⑨アクシデント報告件数・・・・・・・・・・129件

	転倒	転落	ずり落ち	誤薬・ 落薬	離設	窒息	異食	忘れ物	その他	合計
4月	0	2	0	0	0	0	1	1	1	5
5月	1	0	5	1	0	1	0	2	4	14
6月	3	3	1	0	0	0	1	0	1	9
7月	3	0	2	0	0	0	0	1	1	7
8月	3	5	2	0	1	0	1	0	0	12
9月	4	0	1	2	0	0	0	0	1	8
10月	4	1	0	1	0	0	0	3	6	15
11月	4	2	3	0	0	0	1	0	4	14
12月	3	0	1	1	0	0	0	0	3	8
1月	9	2	1	1	1	0	0	0	1	15
2月	5	2	0	2	0	0	0	0	6	15
3月	2	2	0	2	0	0	0	0	1	7
合計	41	19	16	10	2	1	4	7	29	129

その他の事案

入居者間トラブル(手を出してしまった)・マーゲンチューブ抜去・爪がはがれる・  
食事形態の誤り提供・施設物品破損等

⑩実習生受け入れ・体験・見学

○施設体験・見学

体験	年月日	学校名等	人数
「総合的な学習の時間」における福祉体験	平成30年7月4・5日	三芳中学校	8名
「総合的な学習の時間」における福祉体験	平成30年7月2・3日	三芳東中学校	8名

○実習生受け入れ

実習名	年月日	学校名	人数
社会福祉士実習	平成30年11月1日～ 平成30年11月16日	埼玉福祉専門学校	1名

⑪行政関係

○指導監査開催状況

種別	対象	年月日	内容
指導監査	運営・処遇・財務	平成30年10月23日(火)	定期指導監査(実地)

○指導監査結果(平成31年4月16日付)

種別	対象	指導事項	回答
指導監査結果	運営	別紙1「指導事項及び改善報告書結果」参照	
	処遇		
	財務		

○介護相談員 第2水曜日

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24名

⑫ボランティア・クラブ活動

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
9	8	10	8	7	9	7	9	8	4	5	6	90件

《主なVr》陶芸教室,茶道教室,ハーモニカ,傾聴ボランティア,音楽療法,リズム体操,書道クラブ等

⑬事業所別月次稼働実績

種別	特養		ショート		デイ		居宅		備考
	月/定員	90床	%	25床	%	20名	%	35名	
4月	2,557	95	708	107	315	66	34	2	31日
5月	2,700	97	677	95	367	68	32	2	31日
6月	2,607	97	632	92	337	66	30	2	30日
7月	2,737	98	736	97	352	68	33	2	31日
8月	2,652	97	687	100	359	67	35	2	31日
9月	2,651	98	603	96	344	71	34	2	30日
10月	2,670	96	678	99	383	72	34	2	31日
11月	2,595	97	619	95	347	70	33	2	30日
12月	2,627	95	698	104	369	74	31	2	31日
1月	2,718	97	711	99	321	67	34	2	31日
2月	2,466	98	643	103	324	68	34	2	28日
3月	2,695	97	680	99	371	71	33	2	31日
合計	31,675	97(平均)	8,072	99(平均)	4189	69(平均)	397	24	365日
稼働目標		96		96		80			

① 上記数値の標記は少数点第1位を四捨五入とする。

(平成31年3月31日現在)

## 2. 特別養護老人ホーム事業報告

### (1) 介護度別 平均介護度4・2

介護度	男性	女性	計
要介護1	0	0	0
要介護2	0	1	1
要介護3	6	11	17
要介護4	11	27	38
要介護5	4	30	34
計	21名	69名	90名

(平成31年3月31日現在)

### (2) 年齢構成

区分/性別	男性	女性	計	備考
65歳未満	0	1	1	最高年齢 男性 93歳 女性 103歳
65歳 ~ 69歳	2	3	1	
70歳 ~ 74歳	2	2	5	
75歳 ~ 79歳	5	9	12	
80歳 ~ 84歳	3	8	19	最低年齢 男性 69歳 女性 54歳
85歳 ~ 89歳	5	21	18	
90歳 ~ 94歳	4	18	15	
95歳 ~ 99歳	0	5	17	
100歳以上	0	3	2	平均年齢 83.7歳
計	21名	69名	90名	

(平成31年3月31日現在)

### (3) 在籍期間

区分/性別	男性	女性	計
3ヶ月未満	1	4	5
3ヶ月 ~ 6ヶ月未満	4	3	7
6ヶ月 ~ 1年未満	4	6	10
1年 ~ 2年未満	6	13	19
2年 ~ 3年未満	4	13	17
3年 ~ 4年未満	1	6	7
4年以上	1	24	25
計	21名	69名	90名

(平成31年3月31日現在)

## (4) 保険者別入居者数

保 険 者 名	入 居 者 数		計
	男 性	女 性	
三芳町	5	18	23
ふじみ野市	5	11	16
富士見市	1	8	9
所沢市	1	4	5
川越市	1	2	3
新座市	0	2	2
志木市	2	2	4
狭山市	1	0	1
さいたま市	0	1	1
新宿区	1	1	2
練馬区	1	7	8
清瀬市	0	2	2
三鷹市	0	1	1
中野区	0	1	1
板橋区	1	2	3
豊島区	0	2	2
上越市	0	1	1
佐渡市	0	1	1
竜ヶ崎市	0	1	1
西東京市	1	1	2
台東区	0	1	1
文京区	1	0	1
品川区	1	0	1
入間市	1	0	1
東久留米市	1	0	1
八王子市	0	1	1
東村山	1	1	2
計	25名	71名	90名

(平成31年3月31日現在)

## (5) 入退居状況

月/区分	入 居	退 居				計
		死亡	長期入院	在宅復帰	他施設	
4月	4	2	2	0	2	6
5月	3	1	1	0	1	3
6月	1	0	1	0	1	2
7月	2	1	1	0	0	2
8月	1	1	1	0	0	2
9月	2	2	1	0	1	4

10月	2	1	3	0	1	5
11月	3	1	1	0	0	2
12月	4	3	1	0	0	4
1月	2	1	1	0	0	2
2月	0	2	3	0	1	6
3月	3	1	3	0	0	4
計	27名	16名	19名	0名	7名	42名

(平成31年3月31日現在)

#### (6) 入退院状況

月/区分	入院	退院
4月	4	6
5月	9	5
6月	3	3
7月	6	3
8月	4	4
9月	4	4
10月	9	3
11月	10	6
12月	3	4
1月	4	3
2月	3	3
3月	4	1
計	63名	45名

(平成31年3月31日現在)

#### (7) 事業計画報告

##### 1. 人財教育の継続・質の向上（考える職員を育てます）を追求します。

##### 1) ■クレドの理解や実践の向上

桜荘の求める人財像であるクレドがわかって行動できるようになります。

##### (報告)

⇒1年と通し、各ユニットで会議にて勉強会は行っていたが、クレド27まで終わらなかったユニットがある事から来年度も更に実践内容を継続とし、ユニット会議にて勉強会を行い、クレドを浸透させていく。そして、繰り返し、繰り返し行うことでより理解を深められると考える。

## 2) ■チューター制度の見直し、質の向上

チューターが中心となり フロア職員一丸となって指導していきます。そして教える側も教わる側も 一緒に学び成長します。

### (報告)

⇒どこまで出来たかシートは便利だったが、人によってばらつきがでてしまった。チューターと新人職員に係わる職員によって発生してしまう合格ラインのばらつきをなくす為、チューターと UL2 人の目線でのダブルチェックを行うこととした。合格ラインのばらつきとは、甘く評価してしまう者、厳しく評価してしまう者など、1人の評価者の目線だけでは評価に偏りが発生しているケースもあることから、複数の目線で評価することとした。

## 3) ■フィードバック面談の質向上を目指します ※(教える側も教わる側も学びず)

全職員が前向きにFB面談をとらえ、自己の課題に向き合い 成長に繋がります。

### (報告)

⇒「自分の課題の達成度を評価する項目を効果表に追加する」「それぞれの立場に応じた考課表になるよう見直す」という実践内容を目標にしてきたが、自分たちが作成に携わることなく、新しい考課表が作成されたため文言は削除することとする。定期的に自分の課題に向き合う機会を作る為に実践内容にあげてきたが、中間報告時に忘れてしまうことが多く直前に行ってきた。次のFB面談までの半年間の取組みの説明を行うことで、各々課題に真剣に取り組む UL からの催促なく、1人1人が自ら定期的に報告が出来るよう取り組んでいく。

## 2. ケアの質の向上を追求します！！

### 1) ■「生きることを想いやる気持ち」を大切にします！！

毎月の分科会を中心に個々の生活基本スタイル(食事・入浴・排泄等)や24H

シート、ケアプランを見直し、通年かけて個別支援の質を向上させます。

### (報告)

⇒毎月1回開催される各分科会では、マニュアル作成を継続中です。すでに作成されているマニュアルの見直しは年1回(10月)としていますが、変更等あれば随時修正していきます。30年度より開始している新たな24Hshitoへの変更は行ってきましたが、更新時に他部署への周知が確実に行えていなかった為、CM/SWへ提出する旨を新しい実践内容に加えました。リーダーM内でケアプランについての勉強会をおこなったが、スタッフへの落とし込みがうまくできていないので、研修などを行い1人1人のケアの向上を目指したいと考えています。

## 2) ■安心・安全なサービスを追求していきます。

①生活記録をはじめとする記録類の充実を図ります。

### (報告)

⇒良い記録の選出は行ってきたが、見本を見てもらうだけでは効果が薄かったため、記録分科会で研修を行います。選出する人を増やして、より良い記録を共有できるよう取組みます。「促進する」という言葉を「推進する」という言葉に変更しました。促進するとは、物事が早く進むように促すこと。推進するとは目的に向かって、物事を推し進めること。一人一人の理解を深めていけるようしっかりと取組んでいきたいと思えます。

② アクシデントへの取り組みを強化し、アクシデント件数を減らします。

### (報告)

⇒生活日誌に ひやり・はっと報告記入の欄を設けることで記入する意識をたかめました。

※ひやりはっと・・・書類等の見直しを行い 記入件数の増加を目指しました。

※アクシデント・・・類似事故が再発しないようアクシデントのモニタリング内容の見直し件数の減少をはかりました。

令和元年も引き続きとします。

【理由】意識し記入しているユニットもあるが、記入件数が少ないユニットもあるため引き続き取組んでいきます。

⇒事故防止委員会は件数の多いひやり・はっと や対策が必要と思われるケースには予防対策を立てるよう UL に促します。

ユニットリーダーを中心に、ひやり・はっと報告を活用し 効果的な予防対策が早期に立てられるよう支援を行います。

令和元年も継続とします。

【理由】委員会報告時にフロアの事故防止委員を通じ、対策を立てるよう促すことはあったが、件数的には少なかった為、ユニットにより同じ方の同様のアクシデントが続けて発生してしまったことから効果的な対策にはなっていないと思われる事案もあるため継続とします。

⇒リーダーMで重大アクシデントの内容・対策を報告し 情報共有します。それをユニット M の際に 自ユニットでも類似アクシデントの恐れがないかを検討し未然に防ぎます。

令和元年は、以下の通り文言を変更します。

【理由】リーダーM・ユニット会議で議題として報告していたが、自ユニットに置き換え検討するところまでは議事録の内容をみるとできていないようである。新実践内容⇒リーダーMで重大なアクシデントの内容・対策を報告し、情報を共有します。

それをユニット M の際に自ユニットでも類似アクシデントの恐れがないかを検討しその検討内容を会議録に載せることで、情報を共有し未然に防ぎます。

⇒事故防止委員会を中心に施設全体のアクシデント、ひやり・はっとの集計・分析

を行い、事故対策を促進します。

令和元年は以下の通り文言を変更します。

【理由】ひやり・はっとの内容により早期に対策が必要な事案には、委員を通じ UL に対策を立てるよう促してきたが、その後の対策がどのようなものであったか確認してこなかった為、次年度は委員会にてどのような対策を立てたかを報告してもらうことで周囲喚起をしていければと考えています。

新実践内容⇒事故防止委員会を中心に施設全体のアクシデント、ひやり・はっとの集計分析を行い、事故対策を促進します。対策が必要なひやり・はっとは委員会議事録に残し、月次の委員会の際ユニットで立てた対策を報告します。

報告することでひやり・はっとに対する注意喚起をしていきます。

### **3) 高齢者施設の専門職（看護・栄養・機能）として生活モデルの視点を養います。**

（報告）

介護職と共にH 2 4時間シートを作成し、カンファレンス等に参加することで入所者・利用者・家族の想いを知ることができケアにつながられた。

②看護師としてその方の疾患を把握し、必要に応じて疾患についての勉強会をひらきます。

（報告）

・体調不良を早期発見し、重度入居者の受け入れを行っていった。

### **4) 食の楽しみを追求していきます。**

（報告）

個別栄養マネジメントを提案しながら、食の楽しみを迫及した。

また、季節感と楽しみでの満足感を得られるように、バイキング・駅弁等を提供を行った。

### **5) 自己研磨しよう**

（報告）

フィードバック・研修で学ぶ機会を提供しました。

### **6) 地域への貢献をしよう**

（報告）

桜荘内外に係わらず、地域活動を積極的に行ってまいりました。

### **7) 経営基盤の強化**

（報告）

特養の役割である重度入居者の受け入れを積極的に行ってもいりました。

### 3. ショートステイ事業報告

#### (1) 月別利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	目標
定員	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300	
%	107	95	92	97	100	96	99	95	104	99	103	99	99 (平均)	96

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

#### (2) 保険者別

保険者名	利用者数		計
	男性	女性	
三芳町	1	6	7
ふじみ野市	5	16	21
富士見市	4	1	5
所沢市	4	2	6
川越市	1	3	4
新座市	1	0	1
朝霞市	0	2	2
練馬区	2	5	7
葛飾区	2	0	2
清瀬市	0	1	1
西東京市	1	0	1
越谷市	0	1	1
国立市	0	1	1
世田谷区	0	1	1
東久留米市	0	2	2
計	21名	41名	62名

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

#### (3) 介護度別 平均介護度 3.5

月/区分	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
4月	0	0	0	1	3	18	3	25
5月	0	0	0	0	7	14	0	21
6月	0	0	1	2	4	13	2	22
7月	0	0	0	2	4	12	3	21
8月	0	0	0	1	9	12	4	26
9月	0	0	0	1	9	10	3	23
10月	0	0	0	2	9	8	4	23
11月	0	0	0	1	8	10	4	23
12月	0	0	0	3	5	12	6	26
1月	0	0	4	3	6	8	6	27

2月	0	0	1	5	8	9	5	28
3月	0	0	0	4	9	8	5	26
計	0	0	6	25	81	134	45	291

(平成31年3月31日現在)

(4) 年齢構成

区分/性別	男性	女性	計	備考
65歳未満	1	0	1	最高年齢 男性 94歳 女性 98歳
65歳～69歳	1	0	2	
70歳～74歳	0	4	4	
75歳～79歳	1	3	4	
80歳～84歳	1	1	2	最低年齢 男性 55歳 女性 72歳
85歳～89歳	5	4	9	
90歳～94歳	1	3	4	
95歳～99歳	0	1	1	
100歳以上	0	0	0	平均年齢 81.2歳
計	10名	15名	25名	

(平成31年3月31日現在)

(5) 事業計画報告

※特養部門の報告と同様

4. デイサービス事業報告

(1) 月別利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	目標
定員	15	15	18	18	18	18	18	18	18	18	18	20	212	
%	66	68	66	68	67	71	72	70	74	67	68	71	69 (平均)	80

(2) 保険者別

保険者名	利用者数		計
	男性	女性	
三芳町	13	35	48
ふじみ野市	1	1	2
富士見市	2	1	3
朝霞市	0	4	4
所沢市	0	1	1
川越市	0	1	1
計	16名	43名	59名

(3) 介護度別 平均介護度 1.9

月/区分	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
4月	0	7	13	13	3	3	1	40
5月	0	6	13	11	3	3	1	37
6月	0	5	13	11	4	3	1	37
7月	0	5	12	12	3	4	1	37
8月	0	5	13	11	4	3	1	37
9月	0	5	14	12	6	3	0	40
10月	0	4	14	13	7	3	0	41
11月	0	3	15	12	7	3	1	41
12月	2	1	14	13	7	3	1	41
1月	1	2	15	14	7	4	0	43
2月	1	2	14	14	5	4	0	40
3月	1	1	16	15	6	3	1	43
計	5	46	166	139	62	39	8	477

(4) 年齢構成

区分/性別	男性	女性	計	備考
65歳未満	1	0	1	最高年齢 男性 92歳 女性 98歳
65歳 ~ 69歳	0	0	0	
70歳 ~ 74歳	1	4	5	
75歳 ~ 79歳	3	7	10	
80歳 ~ 84歳	4	8	12	最低年齢 男性 62歳 女性 70歳
85歳 ~ 89歳	3	11	14	
90歳 ~ 94歳	4	11	15	
95歳 ~ 99歳	0	2	2	
100歳以上	0	0	0	平均年齢 88.08歳
計	16	43	59	

(5) 事業計画報告

1. 自立(律)支援の介護を提供します。

◆利用者の自立(律)支援を理念とし、サービスを通じて在宅生活のサポートを行います。

目標

- ① 利用者の身体機能を把握し、衣服の着脱、歯磨きや整容、靴の履き替えなどの在宅に必要な日常生活の動作等の機能を維持できるよう支援します。

② 個々の自立支援について検討・見直し・改善を行い支援します。

(報告)

・担当者会議、日々のミーティング、アンケート（上半期－6月・下半期－12月）にて情報収集・検討を行い、自立（律）されている事とサポートが必要な事を見極め、過剰な介護の見直しと改善を行った。

## 2. エンジョイ&リラクゼーション（サービスの質の向上）

※リラクゼーション部門

◆リラクゼーションコーナーの強化。

目標

リラックスできる環境を整え、日々笑顔で楽しく過ごせるように努めます。

(報告)

・世界初の足浴機やマッサージチェアを設置し、リラックスできる環境を整える。  
① 利用者の移動や機械の操作に注意しながら、安心して使用できるようサポート行った  
② 機材だけでなく、周りの環境の整備を行った。

◆安全で快適な入浴を提供します。

目標

① 楽しみながら快適に入浴できる様、環境整備し、企画・活動を行います。

(報告)

・季節に合わせた企画を検討し、環境整備・活動を心がけた。  
ご家族の希望を把握し、個々にあったサービスを提供できるようにケアを行った。

目標

②全身の観察を行い、皮膚状態の変化の把握に努めます。又、清潔保持・自立動作を促し、利用者が持っている身体機能を維持できるよう支援します。

② 利用者の身体状況を把握し、個々に合わせたケア（介助）を支援します。

(報告)

・得た情報はご家族（連絡帳等）職員（健康管理記録等）への報・連・相を徹底した。  
・自立されている動作、介助が必要な動作を見極め、過剰な介護・施設の都合での介助を行わないようにケアの検討を行った。

※エンジョイ部門

◆行事・創作・園芸を強化し充実させます。

目標

① 外出行事(3回/年)を初め、日々コミュニケーションを図り、ニーズに合わせて楽しみ・開放感を感じられる外出企画・活動を行います。(10回/年)

また、敷地内を散歩し季節感を感じていただきながら心身ともにリフレッシュを図る。

(報告)

- ・担当者会議、アンケート（上半期－6月・下半期－12月）にて情報収集し、利用者、家族のニーズの把握に努め、計画・実施を行った。
- ・季節に合わせて計画し、外出場所の情報を事前に伝え、利用者の意欲の向上を促すケアを行った。

目標

- ② 楽しく指先を動かし、意欲の向上、達成感を感じられる創作を企画します。

(報告)

- ・投稿・展示会の時期を明確にし、利用者に目標をもって楽しく創作に取り組めるよう計画・実施する様に努めた。
- ・利用者の意欲を尊重しながら行えるケアを努めた。
- ・完成した創作をフロア内等に展示し、達成感や満足感を感じていただいた。

- ③ 農作業、花のお世話等を通じて楽しみ、喜び、達成感等が感じられるよう季節に合わせた活動を行います。

(報告)

- ・利用者とコミュニケーションを図り、作物、花を選び、成長過程に興味や生きがいを感じてもらえるようアプローチを行った。
- ・農作業は季節感と「収穫→調理→食べる」を意識して行った。
- ・安全に作業して頂くためにテラス・畑の整備に努めた。

#### ◆食の楽しみを追求していきます。

目標

- ①委託業者とともに毎月（1日）デイサービス限定の実演調理・イベント食を企画し行います。

各曜日 2回/年（実演調理、9回/年 イベント食3回/年）

※詳細は年間行事計画で

- ②手作りおやつ、参加型調理等を企画し行います。（1回/月）

(報告)

- ・実演調理・イベント食の情報を事前に伝え、興味を持ってもらえるよう努めた。
- ・イベント食は行事計画書を作成し日時、予算、展開方法等、委託業者と打ち合わせし五感を刺激し楽しめるよう計画した。
- ・楽しみながら、利用者の五感を刺激し身体、心、意欲の向上を促せる企画、活動を行うように努めた。

目標

- ③咀嚼、嚥下、味覚等の状態を常に観察し、良好に食事摂取ができるよう支援します。又、定期的（3か月に1度）体重測定を行い、急激な変化等

見逃さず健康的な生活が送れるよう支援します。

(報告)

・日々の食事量のチェック・体重増減、変化等を記録（連絡帳・生活記録）に記載・連絡等でご家族に伝え、個々の利用者に対し、個別に食事形態等の提案・実施し、提供した。

### 3. 安心、安全なサービスを提供します。

目標

①利用者の心身の状態を意識し個々へのコミュニケーション、バイタルチェック等を行い、心身の状態や変化の把握に努めます。

(報告)

・得た情報はご家族（連絡帳等）職員（健康管理記録等）への報・連・相を強化した。  
・個々へのコミュニケーションの1つとして利用者が話しやすい環境・場所を準備し、実施することに努めた。

目標

③ 安全の確保(目配り、気配り、心配りの強化)に努めます。

(報告)

・個々の利用者の特徴を把握し、危険予測を行い意識して業務を行った。  
・行事・外出等、危険予測をし、事前準備・対策を検討、周知し安全に行った。  
・ケアの向上、業務の効率化を図るため、介護職、看護職のシフト等の見直しを行い業務マニュアル等の改善、施行を行った。(上半期、下半期 2回/年)

目標

③アクシデントへの取り組みを強化します。

モニタリングシートの作成。又、ひやり・はっと報告記入の意識を高め、予防対策を早期に立てることでアクシデント件数を減らします。

(報告)

・ひやり・はっと報告を活用し、予防対策を迅速に行った。  
・定期的なアクシデントについて月例会議にてモニタリングを行い、対策の見直し・改善再発防止に努めた。  
→アクシデント件数の減少につながった。  
・事故防止委員会を中心に施設全体のアクシデントの集計・分析を行い予防対策・事故対策の促進、周知を行った。

### 4. 稼働率の安定を図ります。

目標

①稼働率80%/月・登録数50件/年を目標とし、デイの取り組み、特色、

利用状況等を毎月発信し、居宅・地域包括支援センター等の関係機関へ毎月35件以上訪問しアピールします。

(報告)

- ・見学・体験利用等のパンフレットを活用し、取り組み(行事、イベント、日々の様子等)を細めに利用者、ご家族、居宅・地域包括支援センター等の関係機関に報告、アピールを行い、稼働につなげていけるよう努めた。

目標

③ 稼働率への意識を持ち、サービスの在り方を月例会議にて検討します。

(報告)

- ・毎月稼働状況等について報・連・相を行い全職員で意識し、把握に努め対策・サービス内容等検討し取り組を行った。
- ・取り組み内容は全職員で周知し行った。

目標

③ご利用者、ご家族、関係者機関からの苦情・相談等をきめ細かく吸い上げ迅速に対応し、より信頼されるデイサービスにします。

(報告)

- ・きめ細かく吸い上げるとは、些細な要望や相談も真摯に受け止める努力を行った。
- ・吸い上げた苦情・相談等に対して迅速に対策会議を行い、業務改善を行う活動を行った。
- ・改善策は全職員で周知していくことに努めた。

## 5. 人材教育・質の向上（考える職員を育成します。）

目標

①フィードバック面談を活用し、考課者と考課対象者が共に課題・長所を共し成長につなげます。

(報告)

- ・各職員の成長に必要な、課題・長所を双方（上司／本人）が理解する工夫を行った。
- ・年2回のフィードバック面談以外に対象者によって頻度を変えて振り返り面談を行い進捗状況等を確認する時間を設けた。

目標

③ 職員が成長したい要点に沿った外部研修情報を提供します。

(報告)

- ・フィードバック・振り返り面談を通し、成長したい分野の研修を提案（自主的も含む）し参加できる支援を行った。
- ・研修で学んだことを月例会議等にて報告し、各職員の質の向上を図り実践に活かせる活動を行った。

## 6. 地域への貢献に努めます。

### 目標

- 地域活動（ボランティア活動）を積極的にお受けし、地域交流を図り、ボランティアの方々には気持ち良く活動して頂けるように、事前打ち合わせ、当日準備を行い参加します。

### (報告)

- ・積極的にお受け入れするとは、来て頂くことの感謝の姿勢・利用者、ボランティアが楽しい、安らぐ時間を提供できるように努めた。
- ・利用者の意欲の向上を促す1つの選択としてボランティアの活用を考え行動し、地域交流を図っていけるように努めた。

## 5. 居宅介護支援事業所事業報告

### (1) 月別利用登録状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護	36	33	31	34	35	34	34	33	32	34	34	33	403
予防	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24

### (2) 保険者別

保険者名	利用者数		計
	男性	女性	
三芳町	16	24	40
ふじみ野市	0	3	3
富士見市	0	1	1
越谷市	0	1	1
川越市	0	1	1
鹿野市	0	1	1
那須塩原市	1	0	1
朝霞市	0	1	1
大和市	0	1	1
世田谷区	0	1	1
墨田区	0	1	1
計	17名	35名	52名

### (3) 介護度別

月/区分	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
4月	0	2	5	15	4	10	2	38
5月	0	2	5	15	3	9	1	35
6月	0	2	5	14	2	9	1	33

7月	0	2	6	15	2	10	1	36
8月	0	2	8	14	2	9	2	37
9月	0	2	8	14	2	8	2	36
10月	0	2	7	14	3	8	2	36
11月	0	2	7	13	3	8	2	35
12月	0	2	5	14	4	7	2	34
1月	0	2	5	15	4	8	2	36
2月	0	2	5	15	5	7	2	36
3月	0	2	5	16	4	6	2	35
計	0	24	71	174	38	99	21	427

#### (4) 年齢構成

区分/性別	男性	女性	計	備考
65歳未満	1	0	1	最高年齢 男性 94歳 女性 105歳
65歳 ~ 69歳	1	0	1	
70歳 ~ 74歳	4	1	5	
75歳 ~ 79歳	3	3	6	
80歳 ~ 84歳	5	10	15	最低年齢 男性 55歳 女性 73歳
85歳 ~ 89歳	2	6	8	
90歳 ~ 94歳	1	9	10	
95歳 ~ 99歳	0	5	5	
100歳以上	0	1	1	平均年齢 84.3歳
計	17名	35名	52名	

#### (5) 事業計画報告

##### ○人財育成

###### (報告)

文献等による自己研鑽や地域ケア会議、ケアプラン点検、法人外部研修に参加しました。それにより専門的な知識や技術を高めることができています。引き続き、質の高いケアプランを作成していきます。

##### ○経営基盤の強化

###### (報告)

稼働率 101.4%となっております。引き続き、稼働率 100%を目指していきます。

##### ○地域への貢献

###### (報告)

ご利用者宅訪問時に、防犯や防災の啓蒙活動を行いました。三芳町地域ケア会議三芳町認知症施策推進連絡会、三芳町認知症に関わる事業所連絡会に定期的に参加しました。それによりご利用者やご家族の意識を高め、個別に対策を講じたり、保険者と地域分析や地域の実情に応じたサービスを推進することができています。引き続き、地域資源を活用しながら、安心して暮らせる町づくりに貢献していきます。

6. 平成30年度 彩の国あんしんセーフティネット事業実績  
(生活困難者に対する相談支援事業)

平成30年本事業の事業実績をご報告させていただきます。

【埼玉県】相談支援実績の概要

※別紙「彩の国あんしんセーフティネット事業実績」 参照

【桜荘】 桜荘相談支援実績

相談件数 : 1件

現物給付金額 : 95,324円

(1件目)

日付	平成30年5月
紹介経路	三芳町社会福祉協議会 ⇒ 桜荘
人物	60代 男性
対応 支給品	■ライフライン の復旧 (ガス) ■引越し代 ■不要品処分代

平成31年3月31日 付